





## 平成27年度 医動物・種類同定検査のまとめ(7～9月)

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

平成27年7月から9月の種類同定検査件数は、10件でした。内訳は昆虫類9件(チャタテムシ目3件、コウチュウ目3件、ハチ目3件)、その他の節足動物1件(ダニ目1件)でした。

主な検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
洗面台のキャビネット内に虫がみられた	 成虫、乳白色～淡黄色、約1.0～1.3mm	ヒラタチャタテ (チャタテムシ目)	穀類や貯蔵加工食品(乾めん、ビスケット、干し魚など)、わら製品、ダンボール等広範囲のものを加害する。完全単為生殖のため雌のみが存在する。多湿を好み、カビを食べる。屋内に生息する最も普通の種である。
システムキッチンに多数の小さな虫がみられた	 成虫、黄白色、約1.5mm	チャタテムシ目の一種 (チャタテムシ目)	雑食性の昆虫で、穀類や貯蔵加工品、わら製品、ダンボールなど広範囲のものを加害する。多湿を好み、屋内で生活する種類は木や竹、畳などに生えるカビを食べる。
住居の2階の天窓周辺部に虫が多数みられる	 成虫、褐色、約1.5mm	①チャタテムシ目の一種 (チャタテムシ目)	①同上
	 成体、褐色、約0.5mm	②ササラダニ類の一種 (ダニ目)	②自然界の土壌中に生息するダニ類。落葉、落枝、腐葉、朽木などを食物とする。有機物を含む土壌に生息する。ヒトを刺咬することはない。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
住居内に虫が みられた	 <p>成虫、黄白色、15mm</p>	シロコブゾウムシ (コウチュウ目)	成虫は5～8月にあらわれ、ハギ、フジなどマメ科植物に多くみられる。
乾燥シイタケから出ていると思われる虫が住宅内に多数みられる	 <p>成虫、褐色、約2mm</p>	ヒラタムシ科の一種 (コウチュウ目)	ヒラタムシ科の多くの種は朽木、樹皮下に生息する。一部の種は貯穀害虫で、穀粉などを食害する。乾燥シイタケの大害虫としてハウカムネヒラタムシが知られている。
店舗内に小型の虫が多数みられる	 <p>成虫、黒褐色、約1.8mm</p>	ハネカクシ科の一種 (コウチュウ目)	生態的に多種多様で、食植性、食腐性、食肉性、他の動物に共生、寄生する種もみられる。成虫は早春から晩秋にわたり出現する。分布域は極めて広いが、主として河原などの厨芥や石の下などに多くみられる。習性や生活史は未知のものが多い。
室内の床や庭に複数のアリがみられる	 <p>働きアリ、黒褐色、約2.5mm</p>  <p>雄有翅虫、黒褐色、約4mm</p>  <p>雌有翅虫、黒褐色、約7mm</p>	①トビイロケアリ (ハチ目)  ②ヤマアリ亜科 (ハチ目)	①平野部の草地から林内に最も普通に見られる。巣は土中、朽木の中。結婚飛行は7月から8月。  ②本科は、温帯地方では大型で活発な種類を含み、地上活動性の種も多い。営巣場所は多くの種では地中である。



相談内容・ 発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
住宅内に虫が 多数飛び回っ ている	 <p data-bbox="387 526 719 560">雄有翅虫、黄褐色、約2mm</p>	フタフシアリ亜科 (ハチ目)	アリ類は決まった時期、無数の有翅虫(雌雄成虫)が結婚飛行のため巣から飛び立つ。種類によって結婚飛行の時期は異なる。雄成虫は飛行を終えた後に、灯火に誘引され、多くの個体が窓際に飛来して家屋内に侵入し、不快害虫となることが多い。

【 微生物検査研究課 医動物担当 】